

第26回人間サイズのまちづくり賞 受賞者概要

奨励賞

- まちなみ建築部門

大手前学園 さくら夙川キャンパス E棟・K棟 (西宮市)

神戸大学楠キャンパス Medical C3 commons (神戸市中央区)

波賀市民協働センター「はがてらす」 (宍粟市)

- まちづくり活動部門

三木城下町まちづくり協議会 (三木市)

宝塚市西谷地区まちづくり協議会 (宝塚市)

- 花緑部門

緑花クラブKOBÉ (神戸市中央区)

ピンクロードプロジェクト (加東市)



▲緑豊かな鳳川の風景を継承し市道と一体になったランドスケープ

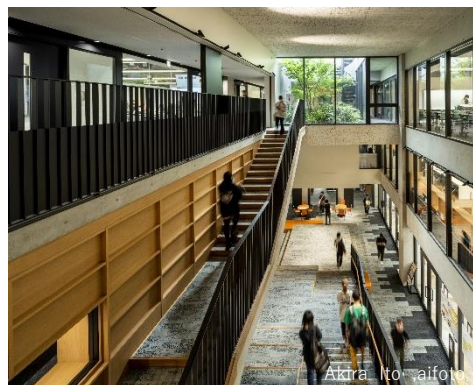


▲キャンパス内のサードプレイスとなる「外構テラス」

事業主 学校法人大手前学園
設計者 株式会社日建設計
施工者 E棟：株式会社 大林組
K棟：株式会社 鴻池組

施設概要

- 学生・職員・地域住民をつなぐ豊かなランドスケープを設え、多様な交流を促すキャンパス
- 住宅街のスケールに合わせて外壁・庇・細い柱で分節し、ヒューマンスケールな空間と豊かな緑を連続させた外観構成
- 多様な学習ができるよう、外構や共用部にサードプレイスとなる「テラス」や「サロン」を計画



▲アクティビティをつなぐ大階段



▲桜の木を眺める窓前のベンチ



▲縦型ルーバーをキーデザインとした外観



▲周辺の街に開放された緑豊かなオープンスペース

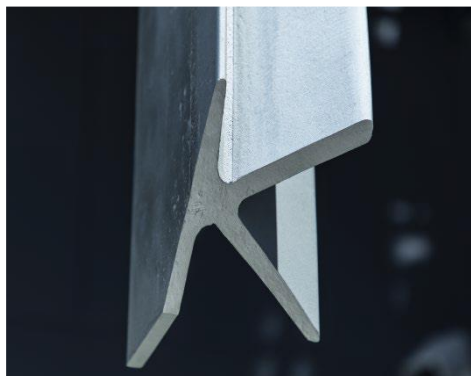
事業主 JA三井リース建物株式会社

設計者 株式会社大林組大阪本店一級建築士事務所

施工者 株式会社大林組

施設概要

- 施設を利用する大学関係者と病院利用者の利便性を追求するとともに、街角に賑わいをもたらす、地域に開かれた医学部キャンパス
- 神戸大学のイニシャル「k」を模ったアルミキャストの縦型ルーバーをキーデザインとした外観
- 薬局やカフェを外来診療棟から段差なくアクセスできる2階に配置するなど利用者に合わせたフロア構成



▲k型のアルミキャストルーバー



▲誰でも利用できるカフェテラス

はがしみなぎょうどう
波賀市民協働センター「はがてらす」 (宍粟市)



▲周囲の山並みに調和する、大屋根が美しい落ち着いた外観



▲木の香りや温もりを感じることができる新設ホール

事業主 宍粟市
設計者 株式会社小野設計
施工者 八幡建設株式会社



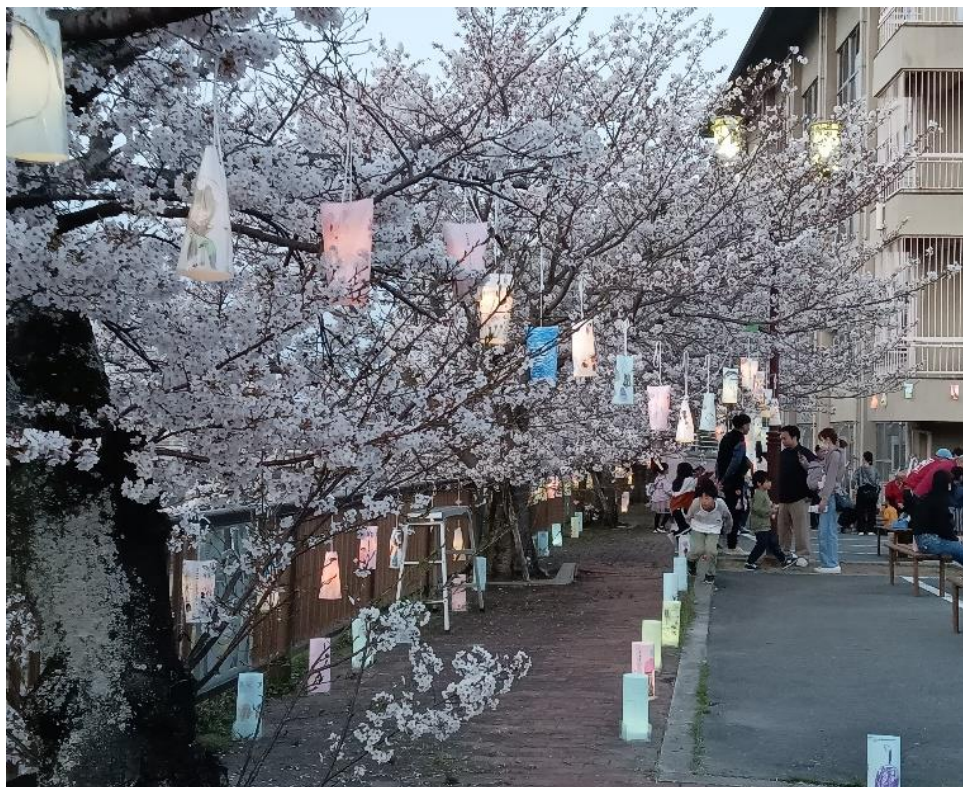
▲窓口エリアを改修した図書室



▲地元住民が運営する購買店

施設概要

- 既設市民局の改修とホール棟の新築により、「地域活性化の核」として人々の日常にやさしく寄り添う施設
- 図書室や遊戯室、多目的ホールなど様々な世代が交流できる場を創出
- 新築ホール棟を購買店が使用することで、地域住民の日常生活を支える場所を提供



▲こどもたちが描いた絵で作られた提灯型ランタンを飾った桜鑑賞



▲国登録有形文化財での公演



▲体験学習ができる街歩きイベント



▲地元小学生との花植えの様子

代表者 米澤 修二

活動概要

- 三木市旧市街地に残る伝統的まち並み・文化、歴史、地場産業等の地区特性や資源を活かし、住民や来訪者の記憶に残るような活動
- 3つの部会（歴史・文化、自然・都市環境、イベント・交流）と事務局で構成され、他団体や行政と協力することで地域の魅力を向上
- 三木城下町の特徴を生かした街並み保存に向けて、住民協定を成立させ、「歴史的景観形成地区」指定に貢献



▲不動産会社と連携した空き家視察ツアー



▲放置されている栗園を再生するプロジェクト

代表者 二井 久和

活動概要

- 地域で活動を行う各団体等と連携し、空き家情報の発掘や移住希望者のマッチング、地域情報の発信などを行うことにより、空き家問題为解决するための活動
- 移住の実現に向けて地域の紹介や地元ルールの説明などを行い、地域住民と移住希望者との関係づくりを支援
- 農をきっかけとした関係人口創出に取り組み、農業の担い手不足や遊休農地の解消を目指す



▲空き家なんでも相談セミナー



▲空き家情報交換用のWEBサイト



▲神戸文化ホール前の芝生花壇



▲神戸オープンガーデンに毎年参加し、花壇を公開

代表者 金 日章

活動概要

- 大倉山神戸文化ホール前花壇を拠点として、市街地の中で自然を感じられるような花壇をつくる活動
- 文化ホール前花壇に4つの特色を持たせて、四季折々の花が楽しめるように工夫
- 他団体のレベルアップ活動やイベントへの出展、オープンガーデンへの参加など、多くの方々が花や緑に興味を持ってもらえるよう、普及啓発活動にも取り組む



▲他団体の活動支援の様子



▲イベントブースで工作体験を実施

ピンクロードプロジェクト (加東市)



▲白蝶草などを植栽して整備した国道沿いの350mの通学路植樹帯



▲小石や岩垂草でデザインした広場



▲ピンクがテーマのイベントを開催



▲ピンクの花を見ながら歩いてもらう健康促進プロジェクトを実施

代表者 角 英津子

活動概要

- 毎年植替えが必要な1年草から植替え不要な多年草への転換を進めることで、持続可能な緑化環境の整備や景観を向上させるための活動
- 市樹の桜と市花の秋桜のピンクをテーマ色として、多年草である白蝶草(学名:ガウラ)等を植える「ピンクロードプロジェクト」を推進
- ピンクをテーマにしたイベントを開催することで、取組を広くPRしながら、地域コミュニティの活性化にも寄与